

1. シンポジウム

1)第3回シンポジウム

日時:2005年10月8日(土) 14:00~17:00

場所:東洋大学白山校舎6号館 6101 教室

テーマ

意図と責任をめぐる社会的知覚— Dr.Malle を迎えて

コーディネーター

北村英哉(東洋大学社会学部)

唐沢穰(神戸大学)

司会

黒澤香(東洋大学社会学部)

パネリスト

松井智子(京都大学霊長類研究所)

Bertram F. Malle (University of Oregon)

膳場百合子(明治学院大学・放送大学非常勤講師)

指定討論者

唐沢穰(神戸大学)

通訳(抄訳)

及川昌典(一橋大学大学院)

2)第4回シンポジウム

日時:2005年11月2日(水) 14:40~17:40

場所:東洋大学雨水会館

テーマ

薬害事件における加害・被害関係と社会—研究の到達点

と今後の課題

コーディネーター・司会

片平冽彦(東洋大学社会学部)

パネリスト

牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

山崎喜比古(東京大学大学院健康社会学)

片平冽彦(東洋大学社会学部)

栗岡幹英(奈良女子大学文学部)

水口真寿美(弁護士)

2. 研究交流会

1)第4回HIRC21研究交流会

2005年5月12日(木) 18:00~20:00

場所:雨水会館会議室

発表者:加藤司(東洋大学社会学部)

発表題目:ストレス反応低減のためのストレスマネジメント

2)第5回HIRC21研究交流会

場所:東洋大学白山校舎2号館16階会議室

発表者:関口陽介(東京大学大学院総合文化研究科)

発表題目:怒り感情の認知的制御方略—感情制御研究の文脈から

3)薬害関連研究会

コーディネーター 片平冽彦(東洋大学社会学部)

2005年6月6日(月) 18:00~20:00

場所:東洋大学白山校舎2号館6階会議室C

講演者:牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

テーマ『量的データのまとめと報告について』

2005年7月23日(土) 14:00~17:00

場所:東洋大学白山校舎2号館6階会議室C

講演者:牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

テーマ『データの量的処理とケースの位置づけ』

講演者:谷直樹(弁護士)

テーマ『肝炎感染被害者に対する国の対策について』

2005年10月22日(土) 17:30~21:00

場所:東洋大学白山校舎2号館6階会議室C

講演者:牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

テーマ『薬害の被害構造 薬害肝炎を例に』

講演者:早瀬薫(弁護士)

テーマ『薬害肝炎訴訟の現状と課題』

2005年11月28日(月) 10:00~12:00

場所:東洋大学白山校舎2号館6階会議室C

講演者:牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

テーマ『薬害肝炎被害者の量的把握 その1』

講演者:早瀬薫(弁護士)

テーマ『薬害肝炎訴訟の現状と課題 その2』

2005年12月26日

場所:東洋大学白山校舎2号館6階会議室C

講演者:牧野忠康(日本福祉大学社会福祉学部)

テーマ『薬害肝炎被害者の量的把握 その2』

講演者:早瀬薫(弁護士)

テーマ『薬害肝炎訴訟の現状と課題 その3』

4)被災者支援研究会

2006年2月23日(木) 18:00~21:00

場所:東洋大学白山校舎5号館5502教室

講演者:稲垣文彦(中越復興市民会議 事務局長)

テーマ『何ができるか、何をすべきか。休演・試演の現実』

### 3. 学会活動

片平冽彦(東洋大学社会学部) 『災害肝炎被害者の早期発見における医療機関の役割』 第46回日本社会医学学会総会 2005年6月26日.

Tomomi HANAI (Chiba University, Graduate School of Science and Technology), Kumiko MATSUSHIMA, Kiyoshi ANDO (Toyo University, Faculty of Sociology), Kazumi YAMAGUCHI (Bunkyo University, Faculty of International Studies), and Takashi OGUCHI (Chiba University, Faculty of Letters) What is the most important component for lodgings getting repeat business? 11th Annual Conference: New Tourism for Asia-Pacific, July 7-10, 2005 in Goyang, Korea.

片山美由紀(東洋大学社会学部) 日本社会心理学会第46回大会 『希望する自由時間行動の自由記述コレスポネンス分析—行動と内面の同時分析/提示による自由時間の理解促進を目指して—』 2005年9月24日

北村英哉(東洋大学社会学部) 日本社会心理学会第46回大会 『他者からのスティグマ的視線の過大視』2005年9月25日

益川順子(東洋大学大学院)・片平冽彦(東洋大学社会学部) 『クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 患者家族のソーシャル・サポートに関する研究—(第1報)硬膜移植によるCJD患者家族の実態(その1)—』 第10回日本難病看護学会学術集会 2005年9月2日.

松井豊(筑波大学)・安藤清志(東洋大学)・福岡欣治(静岡文化芸術大学)・井上果子(横浜国立大学)・畑中美穂(日本学術振興会特別研究員・筑波大学) 『ジャーナリストの惨事ストレス(1) 研究背景と目的』 第5回日本トラウマティック・ストレス学会大会 2006年3月10日(金).

福岡欣治(静岡文化芸術大学)・小城英子(関西大学非常勤講師)・畑中美穂(日本学術振興会特別研究員・筑波大学)・板村英典(関西大学大学院社会学研究科)・松井豊(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 『ジャーナリストの惨事ストレス(2) 新聞記者に対する面接調査から』 第5回日本トラウマティック・ストレス学会大会 2006年3月10日(金).

### 4. ホームページ

初年度に立ち上げたホームページ (<http://hirc21.soc.toyo.ac.jp/>)に、研究年報やシンポジウムの映像記録、関係者の研究資料等を掲載した。